

## 第19回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブルを開催しました

開催日時：2018年10月11日(木) 19:00～20:30

開催場所：此花区民ホール 大ホール

朝夕の空気がめっきりすずしくなった中の開催となりました「～未来このはな～ 二代目ラウンドテーブル」、今回は趣を変えて、此花観光協会様とのコラボ企画「トルコ共和国の文化に触れよう」と銘打ちまして、観光協会会長様よりトルコ文化・音楽について触り程度にご教授いただくと共に、実際に楽器を鳴らしたり民族衣装に袖を通したりと「体験型」のイベントとなりました。

この企画、来る10月20日に区内の商店街にて開催される「この花にぎわい通り」にて行われる「トルコ共和国メフテル軍楽隊パレード」の一般からの参加者練習に合わせたもので、お子様連れのご夫婦や、日本で数名しか演奏できないと言われるトルコ楽器を持参されたマニアの方、またトルコには縁深い此花住吉神社地車会の方々もおいでになり、総勢18名での体験会となりました。

以下に体験会の様子などを写真にて一部ご紹介いたします。

今回は特別企画で、今後はいつも通り毎月第2木曜日に此花区民ホールにて定期開催する予定です。**次回は、11月8日(木) 19:00より、区民ホール第1会議室にて開催予定**です。参加は事前予約なしの自由参加です。お仕事の都合等での途中参加も歓迎いたします。お時間の許す方は、一度覗いてみてください。

### ○観光協会会長様のお話をかいつまみ・・・

トルコは、正式には「トルコ共和国」、15世紀に地中海エリアを席卷した「オスマン帝国」を源流に持ちます。国の花は此花と同じく「チューリップ」。また此花の住吉神社地車会さんが2015年にトルコのイスタンブールに渡って交流を持つなど意外と縁深いものです。トルコ遠征の話は、このラウンドテーブルがきっかけで「一度海外でパフォーマンスをしたい」という地車会さんの希望が実現したものです。トルコの方の性格は、優しいけれど大雑把、どこことなく大阪人に似ていると思います。仕事も荒っぽいですし、女性の方も優しいですが言うことはきちり言う感じです。

トルコの音楽で有名なのが「タルカン」さん。ポップスになりますが広く世代を通じて愛されているようです。今回紹介する軍楽隊の音楽は「伝統芸能」にあたると思います。この源流にある「オスマン軍楽隊」は、もともと軍隊が敵に攻め入るときに相手を怯ませる、ビビらせるための音楽でした。ベートーベンやモーツァルトが作曲した、有名なトルコを冠する楽曲に「トルコ行進曲」がありますが、これは16世紀のオスマン帝国によるウィーン包囲に影響を受けたものだとされています。



(この後、トルコの楽器を色々ご紹介いただきました。ボル、キョス、ダウル、ズルナ etc. )

### ○体験会のお写真をご紹介します。

トルコ楽器の紹介から入りまして楽器体験、続いてトルコ民族衣装の着付け教室からの撮影会、最後にご参加いただいた住吉神社地車会の模範演奏からの楽器体験、とあいなりました。雰囲気を感じていただければ幸いです。







\*\*\*\*\*

余談ですが、「だんじりばやし」は元々築城のための石材を運搬する際の音頭取りで、ゆっくり、障害物注意、曲がれ、などの指示を音で表現していたものだそうです(諸説あり)。ご参考まで。

-----  
以上です。

次回は、11月8日(木) 19:00より、此花区民ホール第1会議室にて開催予定です。  
皆様のご参加をお待ちしております。